

作曲～音楽を聴きながら、新たなメロディーを作ってみよう～

教科・場面

音楽

授業・実践のねらい

- ・選んだ曲のメロディーから、イメージを膨らませる。
- ・作ったメロディーを、音符の代用として色で視覚化する。
- ・作品発表により、緊張感や達成感を味わう。

対象の児童・生徒

高等部 グループ

- ・言葉かけに対して、口や指を動かしたり、視線の動きで表出したりする
- ・好きな音楽には頭を動かしたり、発声したりする



教材・教具

- ・5線紙・O型カラーシール8色
- ・タンゴドラム（体鳴楽器）
- ・マイク

工夫したところ

- ・音列を色シールで視覚化した。
- ・どの音が鳴っても不快に感じにくい「タンゴドラム」を演奏楽器として使用した。
- ・アプリを使用して、「タンゴドラム」と合うように移調した。

授業展開・教材の使い方・実践の内容など

〈作曲〉

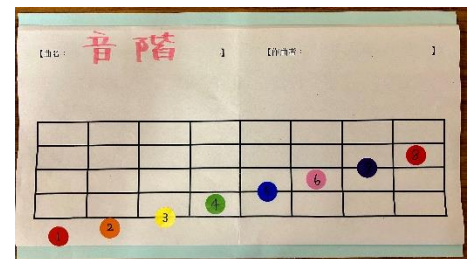
- ・楽器に触れ、音色を体感する。
- ・曲選び・・・使用楽器の特徴を活かすことができる2曲『Amazing Grace』『戦場のメリークリスマス』を鑑賞して、生徒の表情によりどちらかの曲を選ぶ。
- ・繰り返し音楽を聴きながら、教師と一緒に色シールを選んで5線紙に貼る。
教師は、あらかじめ音階を示してある色列を見ながら、生徒が選んだシールをその場所に貼るようアシストする。

〈演奏練習〉

- ・楽器に付属したバチでしか良い音が出ないため、教師と一緒に持つ方法を確認する。

〈作品収録〉

- ・作品発表の為の収録を行う。



授業・実践を通じた児童生徒の変容

- ・ヨガなどのリラクゼーション音楽に用いられる楽器を使用することで、聴覚過敏の生徒も取り組むことができた。
- ・強く叩くほど響く楽器の特性から、自身で演奏できる生徒も力加減にとらわれず、演奏することができた。
- ・響きに耳を澄ませて、次の音への期待感を表出できた生徒がいた。